

# セパネットニュース

■目次 1P 理事長挨拶 2P 通常総会 3P 経営テーマ・経営談話室 4P 新製品紹介・理事会報告

## 六度目の理事長就任にきす。



理事長 山田 三和

去る7月8日(日)富山県の立山国際ホテルにて第27期セパレーター協同組合の定期総会が開催されました。

第1号議案より第4号議案まで慎重審議され、いずれの議案も可決されました。本当にありがとうございます。

当期純損失金として138,202円となり、4期連続の赤字決算となり、大変責任を感じている次第であります。

細川前理事長からバトンを渡されたのが10年前であります。初めて理事長を仰せつかったの理事会での初仕事は理事及び職員の報酬を3割カットする議題において、各理事の賛同を得て実行できました。

さらに、2年前には、さらに5割カットと各経費の削減を実施しましたが、結果的には大変不本意な結果と相成り申し

訳なく思い、新たなる理事長になっていただきたく、皆様方に自薦、他薦のご意見を頂戴しましたが、結論にいたらず、6度の理事長に推挙され、就任しました。

理事一同、微力ながら精いっぱい頑張りたい所存ですので、皆様方のご支援ご協力を賜りたいと思います。

今後の組合運営について、理事会でも協議され、私も総会にてお話ししましたが

「組合員の皆様が組合の製品をPRされ、1社が年間50万円〜100万円上乗せされ、買っていただければ必ず黒字となり、組合の運営も良い方向となります。」どうか、この趣旨をご理解され実行していただきますよう重ねてよろしくお願ひ申し上げます。

さて、翌日は立山黒部アルペンルートにて、立山室堂より大観望より黒部第4ダム(黒4ダム)を視察し、特に、黒4ダムでは大放水された水しぶきに大きな虹が二重となり、全員が歓喜を上げ大自然のなす壮大さを満喫しました。

人は自然には無力であるけれども、人と人が切磋琢磨することによって生きてく術を人は持っていると思えました。

皆様方の会社のますますのご繁栄と、健康で活躍されますようご祈念申し上げます。

### 合併報告

株式会社キョウエイとエスイー朝日株式会社との両社は、平成24年1月1日合併し「エスイーA&K株式会社」が発足しました。

また同年6月22日の株主総会および取締役会において、新役員が選任され代表取締役社長に串田信行氏が就任されました。

### 梁ポッター「紅ズワイガニ」プレゼントセール、三年目へ。

梁ポッターの「紅ズワイガニ」プレゼントセールをメーカーの共栄製作所(株)の協力のもとに今回も実施する予定。二回とも、組合員の皆さまのご協力により、盛況のうちに終了することができました。今回に関しましては、セール期間など詳細は後日連絡申し上げます。

第27期通常総会報告 ●平成24(2012)年7月8日(金)

# 平成24年度総会、富山で開催。 黒字化と販売10%増へ。

山田理事長以下全役員再任さる。

今回の平成24年度(第27期)総会の開催地は富山県の立山国際ホテルで、7月8日午後3時開始。24年度の事業計画では、黒字化と23年度比10%増の拡販をめざす。役員全員の再選が決まりました。組合員企業20社のうち13社(代理出席を含む)が参加。

平成23年度事業報告・収支決算、平成24年度事業計画など4議案を審議全会一致で原案通り承認。なお、翌日は室堂や大観峰、黒部ダムなどを観光し、富山駅で散会となりました。

山田理事長を議長に、  
議案を慎重審議。

中村秀幸監事による開会の辞、山田理事長の挨拶に続き、理事長を議長に選出

して、以下の議案審議に入りました。

検討された議案内容を紹介します。

第1号議案 平成23年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書および剰余金処分案の承認の件

坂下事務局長が昨年度に実施してきた会議や研修会、定例勉強会などについて説明。収支状況では、共同購買事業対象となる組合カップやハリ座金、板ナット、ハリカン、ウルトラリング、エスケーユニバー、梁ボツター、包装資材などの明細やその仕入れ高・売上高について説明がなされ、中村秀幸監事による監査報告とともに承認されました。

第2号議案 平成24年度事業計画設定、及び収支予算設定に関する承認の件

下間学専務理事から、新年度に予定している共同購買事業の数値目標や教育情

報事業、福利厚生事業、研究開発事業の内容について説明。これらに基づく総額900余万円の予算が発表され、可決・承認されました。

第3号議案 平成24年度経費の賦課およびその徴収方法に関する承認の件

細川康二理事は平成24年度予算案に示されている通り、組合員1名につき月2,000円の年間24,000円を、一括徴収する旨説明され、可決承認しました。

第4号議案 役員選任の件

山田清理事から本年7月15日付けで任期満了を迎えた現役員の改選について説明。併せて定款に基づく選出方法として、指名推薦方式の採用を決議。その後出席組合員より現役員の再任発言あり。出席者に諮り、異議なく承認をえました。山

田理事長は、新理事長就任の抱負を述べ、総会は終了。

総会終了後、会員企業の新製品が紹介されました。三先が開発した土間止め用金物「ドマスター」と、コンドレーテックの取扱い商品、リチウムイオン蓄電器「DENKEEP」の特長やメリットの詳しい説明が行われました。さらに、最近の市場動向やユーザーニーズの変化について、活発な意見交換がなされ、総会を締めくくるものとなりました。

田理事長は、新理事長就任の抱負を述べ、総会は終了。



# 日本を襲う資源インフレ?

バブルに続き失われた20年と現在の不況。中小企業の頑張りを支える、明日を読む力のヒントになる世界経済状況。世界同時的に起る新興国の勃興は、日本経済の波乱要因を形成しています。

## 新興国の成長にともなう構造変化。

地球を覆うかのような、激変する世界経済変化の要因は見極めにくい。日本企業の海外移転ラッシュや新興国の追い上げのニュースは、もう珍しくない今日。ここで、もう一歩つっこんで世界経済の変化をみれば、一つあげられるのが、不確定な要素としてある、原油はもとより、資源・食糧価格の上昇。

長らく商品相場の調査を続けるこの分野の第一人者で、著名エコノミストの柴田明夫氏は、「資源・食糧価格の上昇は、中国をはじめとする新興国の成長に伴う構造変化」と指摘しています。

## 実体経済に裏打ちされた需給変化。

資源・食糧価格の商品相場は70年代の二度の石油危機、食糧危機を経て、下降トレンドの上を回復。原油価格では、1バレル30ドルから70ドルまで一本調子の上昇軌道に。一般的な解釈は、投機マネーが価格を引き上げているといわれました。これに対し、柴田氏は、これは70年代の石油危機と同様、実体経済変化に裏打ちされた構造変化。主因は需給の変化だという見方です。

この変化の主因は、中国といわれます。例としてあげられるのが鉄鋼の生産量。00年当時日本と同じ年間1億2,3000万トンが10年には6億2000万トンに。中国は世界の資源を食い尽くす「爆食」よろしく、鉄鋼をわがものにし、それまで先進国主導だった価格交渉を引っ張っているといえます。

## 世界資源市場の約半分中国需要。

07年につけ急騰した資源・食糧価格は、国際的な金融情勢に影響されるものの、今後の見通しは可能なんだろうか。そこではつきり言えそうなのが中国の「爆食」です。

柴田氏は「現状はトレンドとして、新しい価格レベルの移行時期にある」と。移行期間を左右するのは、中国。資源市場の半分ぐらいは中国1国需要だ。中国需要を警告する向きがあるにしろ、「政策転換の為に大規模な社会インフラ整備を計画しており、それが資源市場を刺激するだろう」と、中国需要の増加は続くともみる立場。

近い将来、資源インフレはやってくるかもしれない。そのときデフレ日本はどうなるか。中小企業にとっ、これからも、変化をしっかりとらえていく行動が求められます。

## 「観光」は次代のリーディング産業。

建設関連産業は、今回の大震災により存在感を高めているにせよ、生活基盤を重視していくという、大変地味な産業であり、雇用拡大がそう期待できない。50年後には人口6,000万人時代が来るといふ日本は、公共工事を担う土木工事はさらに半減するだろう。自動車産業はマイクロ電気自動車になり、その製造の中心は中小自動車メーカーになる。化学や造船、鉄鋼は国内に工場すらくなくなる。としたら、6,000万人の日本国民は何で食べていくのか、をいわねばならない。まずトップにくるのが観光産業というのは、いまの観光ブームをみても頷けるところか。

美しい日本の四季、神社仏閣に四季を通じて催されるお祭り、ヘルシーな四季に彩られた日本料理に、絶対に外国人が真似できない繊細で心にこもったおもてなし。これが日本の産業資源だ。世界旅行観光協議会の調査によると、観光産業は、2009年の世界のGDP(総生産)の1割に相当し、成長を続ける500兆円の巨大市場。2020年には、この倍の2千兆円にまで成長する。

かつて、政府は訪日外国人客を3000万人まで増やす構想を発表したのを、ご記憶の方もおられることでしょう。成熟国家・日本の再成長へのキーワードは「観光」。今や世界各国にとっても観光市場は主戦場とされており、観光では発展途上国の日本が、次代のリーディング産業は「観光」だとのしほれば、「二気呵成に世界の舞台に躍り出るビッグチャンスをもものにできるかもしれません。

■この記事は「News ASNA」を参考にしました。

**理事会報告**

(理事会議事録より抄録)

**第27期10月度理事会**

- 開催日時 平成23年10月6日(木)  
10:00~12:00  
開催場所 港区民センター  
出席者 5名
- 議 題
- 1号議案 平成23年度組合総会の総括  
2号議案 「梁ポッター」のキャンペーンについて  
3号議案 その他

**第27期1月度理事会**

- 開催日時 平成24年1月19日(木)  
15:00~17:00  
開催場所 なんば道頓堀ホテル  
3階会議室  
出席者 6名
- 議 題
- 1号議案 「梁ポッター」のキャンペーン  
セールの実績について  
2号議案 最近の各地の建設業を中心とした  
経済状況について  
3号議案 役員改選について  
4号議案 その他

**第27期4月度理事会**

- 開催日時 平成24年4月6日(金)  
10:00~12:00  
開催場所 港区民センター 2階会議室  
出席者 5名
- 議 題
- 1号議案 本年の組合総会開催について  
2号議案 諏訪鋼材(株)の廃業とその影響について  
3号議案 その他

**第28期6月度理事会**

- 開催日時 平成24年6月15日(金)  
10:00~12:00  
開催場所 港区民センター 会議室  
出席者 6名
- 議 題
- 1号議案 第27期の決算および  
共同購買事業について  
2号議案 組合総会の開催について  
3号議案 役員改選について  
4号議案 その他

**新製品紹介****三先□溶接不要・土間止金物  
「ドマスター」 特許出願中**

三先さんから待望の新製品が開発されましたので、ご紹介します。土間工事に特化した、三先さんならではの業界初の日本製新製品。セパレーターと異形鉄筋を接合する、土間工事の新星ということにちなんで、「ドマスター」とネーミングしています。



**特長** 使いやすく、軽く、エコノミーの三拍子そろった新製品

- ① 締めるのは一カ所のみ。
- ② セットがしやすい(ワンタッチ)
- ③ 仕上げ止め(締め上げ)が手前方向からできる。
- ④ コンクリートと鉄筋との「かぶり」(有効範囲)が取れる。

※セパレーター協同組合の取扱商品となります。

**事務局便り**

① 中小企業緊急雇用安定助成金の支給を2年間受けて来ました。1年目は52万円、2年目は55万円となっております。3年目は、組合の共同購買事業の実績が対前年の10%増(8月末現在)となっている状態ですので、申請は難しいと考えておりましたが、平成24年9月末までの特例が有る内にと、現在申請中です。

② 昨年の9月末に(株)三先様のご厚意により、現在の事務所に移転しました。大阪の中心部に独立した事務所が有ったときと違って、大阪府中小企業団体中央会、官公庁、銀行や郵便局と距離が有り、何をしても時間が掛り効率は良くありません。インターネットの環境も立ち上がりや、反応の遅さが気になります。しかし悪いことばかりではなく、赤土専務をはじめ事務所のスタッフにいろいろと相談できる環境は有りがたいことです。これは次に事務局を預る人にバトンタッチするうえで、大変重要な条件だと認識しております。

③ 山田理事長の下で10年間事務局を預ってきました。当初は共同購買事業では利益を計上できており、理事長や高松税理士のご指示ご了解の上、精一杯の出資金配当や利用分量配当をして来ました。しかし景気の後退と公共事業の大幅な減少に影響をまろに受けて、共同購買事業の業績は落ち込み続けて直近の4年間は赤字が続いております。平成24年6月からの第28期にはぜひとも黒字転換を図りたいと思い、受発注業務のスムーズな運営と、出来る限りに経費の削減に努めてまいります。政治の不安定な状況にかかわらず、国内の建設業界は少し明るさが見えてきたように思えますので、年度内は是非大幅な業績の向上を願うものです。

**計 報**

株式会社三先 社長赤土尚美氏の実父、奥本喬有様は平成24年3月22日ご逝去されました。こころよりご冥福をお祈り申し上げます。